

2022年度末定期試験における六法等の持込許可または不許可の科目は次のとおり。

| 試験日 | 科目名 | 担当教員 | 持込（許可／不許可） |
|----------|-------------------|---------------|---|
| 1月17日(火) | 経済法 | VANDE WALLE | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| | 日本政治思想史 | 苅部 | A4判の紙1枚、およびホチキス |
| | 民事訴訟法第1部 | 菱田 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 1月18日(水) | 労働法 | 荒木 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| | 比較政治I(旧社会主義諸国の政治) | 松里 | 不許可 |
| 1月19日(木) | 特別講義 金融法 | 松井、加藤(貴) | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| | 商法第2部 | 後藤 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 1月20日(金) | ロシア・旧ソ連法 | 渋谷 | 不許可 |
| | 法哲学 | 瀧川 | 不許可 |
| 1月20日(金) | 行政学 | 前田 | 不許可 |
| | 国法学 | 林 | 不許可 |
| 1月23日(月) | 中国法 | 高見澤 | 不許可 |
| | 特別講義 情報社会と法 | 宍戸 | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| 1月24日(火) | アジア政治外交史 | 平野(聡) | 自筆ノート(PC入力しプリントアウトしたものは不可) |
| | 現代政治理論 | 川出(良) | 不許可 |
| 1月25日(水) | 日本法制史 | 新田 | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| | イスラーム法 | 両角 | 六法(解説及び判例のないもの)、自筆ノート、授業中の配布資料 |
| 1月25日(水) | 特別講義 金融商品取引法 | 神作、飯田(秀) | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| | 行政法第2部 | 巽 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 1月26日(木) | 特別講義 現代朝鮮半島の政治 | 木宮 | 不許可 |
| | 民法第3部 | 森田(宏) | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 1月27日(金) | 比較政治III(先進国の政治) | 古賀 | 不許可 |
| | 法と経済学 | 飯田(高)、南、藤谷、平田 | 不許可 |
| 1月30日(月) | 比較法原論 | 浅香 | 不許可 |
| | 特別講義 国際行政論 | 城山 | 不許可 |
| 1月31日(火) | アメリカ政治外交史 | 梅川 | 不許可 |
| | 民事訴訟法第3部 | 垣内 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 2月1日(水) | 刑事訴訟法 | 成瀬 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| | 知的財産法 | 大淵 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 2月2日(木) | 特別講義 現代ラテンアメリカの政治 | 大串 | 不許可 |
| | 法社会学 | Vanoverbeke | 不許可 |
| 2月2日(木) | ヨーロッパ政治史 | 中山 | 不許可 |
| | 憲法 | 宍戸 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 2月3日(金) | 経済学基礎 | 渡邊、萱場 | 不許可 |
| | 国際政治 | 遠藤 | 不許可 |
| 2月3日(金) | 刑法第1部 | 樋口 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| | 民法第1部 | 水津 | 六法(解説及び判例のないもの) |
| 2月6日(月) | 政治学 | 加藤(淳) | 不許可 |
| | 日本近代法史 | 和仁 | 一切持込可(但し、書籍・ノート類など紙ベースのものに限る) |
| | 国際法第1部 | 寺谷 | 解説及び判例のない条約集(事実上、『国条約集』(有斐閣、版を問わない))に限る |

- 注意 ○六法、条約集等は書き込みのないものに限る。書き込みのあるものの持ち込みは、不正行為である。
 六法において、受験する法律以外の部分に書き込みのある場合も、不正行為である。
 ○六法へ勉強の際に書き込みをした場合は、試験に際して持ち込み許可物用としてもう1部用意する必要がある。
 ○六法、条約集等で「～年度版」と指定のあるものについては、指定された年度のものに限る。
 ○試験室での六法の貸出しは行わない。